

2020年4月1日

2020年度新入社員に向けた社長あいさつ(要旨)

トヨタ車体株式会社(本社:愛知県刈谷市 代表取締役・社長:増井 敬二)は、4月1日(水)、新入社員329人(事務職18人、技術職100人、技能職211人)の入社式を行いました。今年は、新型コロナウイルスの感染防止策として、分散開催としました。

入社式での社長あいさつ(要旨)は以下のとおりです。

【社長あいさつの要旨】

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

今年は、新型コロナウイルスの影響により、入社式を分散で開催することとなりましたが、皆さんの期待に満ちた顔をより間近で見ることができ、うれしく思います。今日から、新たにトヨタ車体の仲間となりました皆さんへの期待をお伝えします。

当社は、今年8月に会社創立75周年を迎えます。皆さんには、100周年に向けた次の四半世紀の担い手としてトヨタ車体をけん引してほしいと願っています。今、自動車業界はCASEと呼ばれる電動化や自動運転などの技術革新によって大変革期を迎えています。その競争に打ち勝つには、今までの成功体験ではなく「新たな発想とそれを実現するリーダー」が必要です。

皆さんにはトヨタ車体の一員として、目の前の問題から目をそらさず「当事者意識」を持ち、考え、行動してほしいと思います。新人ならではの新鮮な気持ちは、新たな変革につながる可能性をもっています。職場の上司、先輩はきちんと受け止めてくれますので、臆することなく自分の意見を発信してください。

また、いいクルマづくりは決して一人ではできません。仲間が一体となり、コミュニケーションのいい明るい職場があってはじめてできるものです。多くの人と会話をし、一日でも早く職場になじみ、「新人ならではの新しい風」を吹かせてください。

皆さんが今、この場にいるのは、自分だけの努力だけではなく、周りの支えがあったからだと思います。そうした方々に対して、またこれから新たに関わるすべての人に対して感謝と謙虚な気持ちを常に持ち続けてください。

そして、今、皆さんが抱いている夢や新鮮な気持ちをいつまでも忘れず、トヨタ車体に入社してよかったと心から思える充実した会社生活が送れるよう、まずは目の前の仕事を全力で取り組み、チャレンジして欲しいと思います。

以上

